

いずみざき よこ あな
泉崎横穴

所在地／泉崎村大字泉崎字白石山

泉崎横穴は、泉崎中学校の道をはさんで東隣の丘陵にあります。交差点の東北の角で、泉崎村と矢吹町の境界にあります。

横穴は1933年県道拡張工事の際に発見され、横穴内部に壁画のあることがわかりました。

壁画は遺体を葬る部屋（^{げんしつ}玄室）の奥と左右の壁、天井に朱を使って描かれています。

奥の壁には、右から順に2頭の動物、弓に矢をつかえてそれを追う騎馬人物像、大の字形に手足をひらいた正面形の人物像4人、両手に高杯（たかつき）状の器物をささげた女性らしい側面形の人物像3人を20cm前後の高さで一列に描き、その下方の余白には、直線や珠文をちらしています。

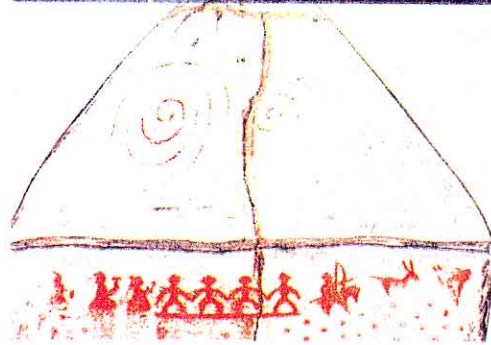
奥に向かって左の壁には、奥の壁に近い部分から順番に渦巻文（うずまきもん）、馬に乗る人、小動物、馬に乗る人、馬が描かれています。

奥に向かって右の壁には、白のようなものと馬が、奥壁近くには、珠文が多くあります。

天井部には、4壁の上部にいずれも大きな渦文があるが、奥壁上部のものが、径約60cmあってもっとも明瞭です。

副葬品としては、直刀、^{とうす}刀子、銅環など少量が遺存されています。

この横穴は、7世紀の前期にできたものと言われています。



泉崎横穴と壁画

出土品：直刀・刀子・高杯・鉄製つぼ



泉崎横穴副葬品